

欧米・大洋州を含めた 更なるインバウンド需要の取込みについて

平成30年10月25日

九州地域戦略会議

【現状①】

全国を上回るインバウンドの伸び

- 平成29年の九州・山口(沖縄を除く)の外国人延べ宿泊者数は約763万人(全国シェア9.6%、対前年伸び率31.2%)であり、北海道の約770万人(シェア9.7%、伸び率17.5%)に迫る規模
※沖縄を含めると1,200万人超、シェア15%超となり、大阪を上回る
- 九州・山口(沖縄を除く)の延べ宿泊者数の4年間(H29-25)での伸び率は2.9倍であり、全国の伸び率(2.4倍)を上回る

○都道府県別 外国人延べ宿泊者数(H29)

(単位:人泊)

	H29		H28		H25		(H29-28)		(H29-25)	
	宿泊者数	構成比	宿泊者数	構成比	宿泊者数	構成比	伸び率	伸び率	伸び率	伸び率
東京	19,775,890	24.8%	18,059,960	26.0%	9,830,950	29.3%	9.5%	2.0倍		
大阪	11,672,040	14.6%	10,008,830	14.4%	4,314,500	12.9%	16.6%	2.7倍		
北海道	7,702,470	9.7%	6,554,220	9.4%	3,069,750	9.2%	17.5%	2.5倍		
九州・山口 (沖縄除く)	7,629,430	9.6%	5,813,530	8.4%	※ 2,609,560	7.8%	31.2%	2.9倍		
京都	5,556,380	7.0%	4,602,810	6.6%	2,625,880	7.8%	20.7%	2.1倍		
沖縄	4,623,800	5.8%	3,859,790	5.6%	1,487,750	4.4%	19.8%	3.1倍		
その他	22,730,580	28.5%	20,489,800	29.5%	9,557,340	28.5%	10.9%	2.4倍		
全国	79,690,590		69,388,940		33,495,730		14.8%	2.4倍		

H29 外国人延べ宿泊者数(構成比)



出典:宿泊旅行統計調査(観光庁)

※九州・山口各県の内訳(H29)

- ①福岡 311.2万人 ②大分 138.7万人 ③熊本 80.8万人 ④長崎 77.9万人
- ⑤鹿児島 74.4万人 ⑥佐賀 38.5万人 ⑦宮崎 29.7万人 ⑧山口 11.7万人

【現状②】

インバウンド拡大の好機

- 今後、九州地域で様々な国際スポーツ大会等が開催されることから、欧米・大洋州も含め、多くの観戦客や大会関係者等が九州を訪れることが見込まれる
- これらの大規模イベントを契機として、しっかり「観光」と結びつけば、その後のインバウンド拡大の好機となり得る

○今後行われる国際スポーツ大会について

	大会名	特徴	見込まれる効果
2019	ラグビーワールドカップ2019 (第9回) 9/20～11/2 [福岡・熊本・大分]	<ul style="list-style-type: none"> ・全48試合中10試合が九州で開催 ・九州・山口で7県16自治体が公認キャンプ地内定 ・アジアで初めての開催(世界3大スポーツ大会のひとつ) ・出場20チーム中14チームが欧米・大洋州 開催期間及び試合間隔が長く、観戦客は富裕層が多い ◎九州・山口地域の周遊促進の取組実施 ・「祭りアイランド九州」開催	<2019日本大会> 経済波及効果 4,372億円 ・直接効果 1,917億円(大会準備、運営、観戦消費) ・第一次間接効果 1,565億円(生産等需要拡大) ・第二次間接効果 890億円(雇用創出等) 来場者見込 180万人 訪日外国人客 40万人 ((公財)ラグビーワールドカップ2019組織委員会試算)
	女子ハンドボール世界選手権 大会2019(第24回) 11/30～12/15 [熊本]	<ul style="list-style-type: none"> ・参加24ヶ国のうち半数以上が欧米・大洋州 1997年熊本開催(男子)以来22年ぶり2回目の日本開催	来場者見込 30万人 <参考:1997男子大会> 経済波及効果 64億円 外国人宿泊者数 前年比12万人増 (熊本県試算)
2020	東京2020オリンピック(第32回) // パラリンピック(第16回) 7/24～8/9 8/25～9/6 [東京 他]	<ul style="list-style-type: none"> ・ホストタウン登録、九州・山口で9県、35団体・自治体 ・事前キャンプ地8県・31自治体 ・世界200ヶ国以上が参加 ◎「beyond2020」の展開(文化力の発信) ・九州発「キモノ プロジェクト」の推進	<2020東京大会> 経済波及効果 32兆円(うち東京都以外 12兆円) ・直接的効果 5兆円(うち東京都以外 2兆円) ・レガシー効果 27兆円(うち東京都以外 10兆円) (東京都試算) 参加選手数(参考:2016リオデジャネイロ大会) ・オリンピック 約11,000名(205ヶ国) ・パラリンピック 約4,300名(159ヶ国)
	世界水泳選手権2021福岡大会 世界マスターズ選手権(第19回) 7/16～8/1 [福岡]	<ul style="list-style-type: none"> ・世界水泳選手権 約2,400人出場 ・世界マスターズ選手権 約10,000人出場 2001年福岡開催(96ヶ国参加)以来20年ぶり2回目の日本開催	<2021福岡大会> 経済波及効果 310億円 来場者見込 30万人 (日本政策投資銀行試算)

【現状③】

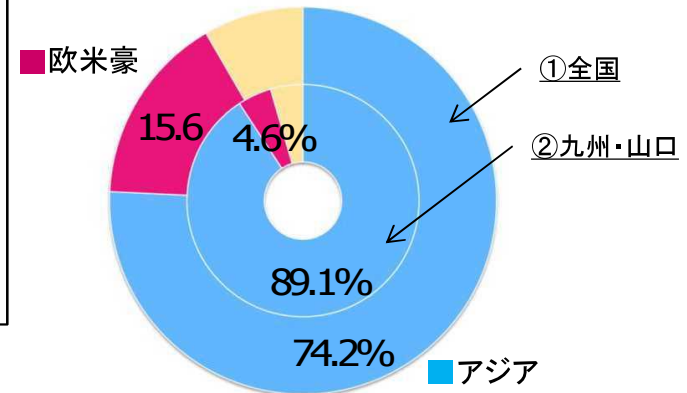
九州・山口を訪れる外国人宿泊者の国籍別内訳

➤ 九州・山口（沖縄除く）の外国人延べ宿泊者数は、アジアからの旅行者が89.1%を占める

（←全国平均は74.2%）

➤ 一方、欧米豪からの宿泊者数は4.6%であり、全国15.6%と比べると1/3以下と低い

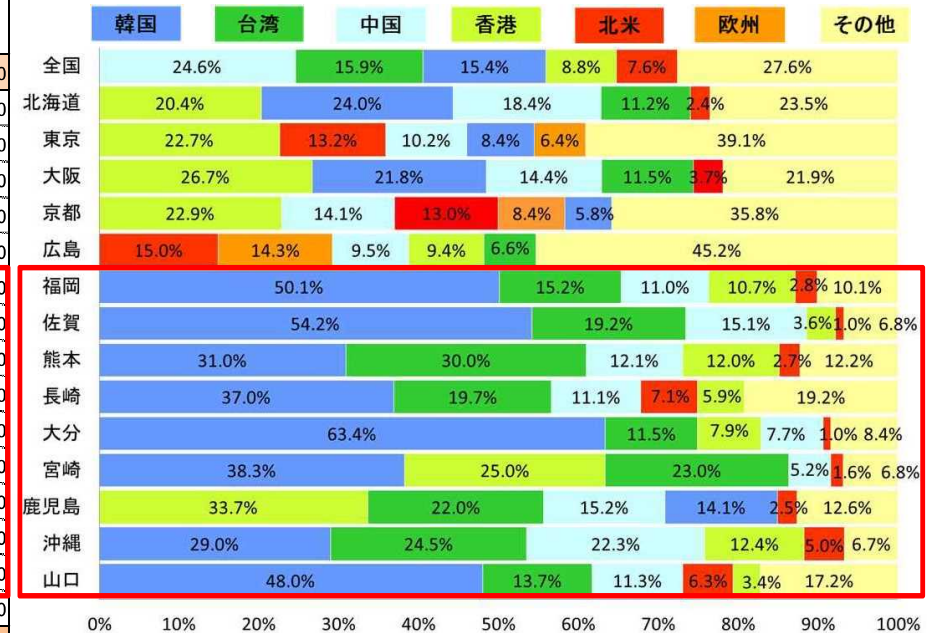
H29国籍別構成比



○H29外国人延べ宿泊者数の国籍別内訳(従業者数10人以上の施設)
(単位:人泊)

①	地域	アジア		欧米豪		その他		計
		実数	構成比	実数	構成比	実数	構成比	
①	全国	54,106,190	74.2%	11,355,840	15.6%	5,976,850	8.2%	72,933,660
	北海道	6,512,420	89.6%	403,640	5.6%	306,540	4.2%	7,265,810
	東京	11,437,860	59.6%	5,013,770	26.1%	2,410,340	12.6%	19,185,930
	大阪	9,161,280	85.0%	859,100	8.0%	597,740	5.5%	10,783,660
	京都	2,521,770	53.8%	1,490,670	31.8%	570,010	12.2%	4,685,300
	広島	296,120	37.3%	345,080	43.5%	132,000	16.6%	793,690
	福岡	2,740,410	90.9%	131,430	4.4%	115,660	3.8%	3,016,410
	佐賀	348,590	94.4%	6,580	1.8%	12,700	3.4%	369,390
	長崎	445,550	72.4%	64,150	10.4%	54,620	8.9%	615,290
	熊本	645,980	88.6%	36,890	5.1%	33,500	4.6%	728,720
	大分	969,740	92.7%	20,640	2.0%	33,150	3.2%	1,045,890
	宮崎	229,850	92.2%	7,220	2.9%	7,410	3.0%	249,390
	鹿児島	502,870	87.5%	33,290	5.8%	35,290	6.1%	575,030
	沖縄	3,582,550	88.3%	259,980	6.4%	122,090	3.0%	4,058,380
	山口	81,750	85.3%	9,560	10.0%	4,130	4.3%	95,830
	九州・山口	9,547,290	88.8%	569,740	5.3%	418,550	3.9%	10,754,330
②	九州・山口 (沖縄除く)	5,964,740	89.1%	309,760	4.6%	296,460	4.4%	6,695,950

※上位5位までの国別内訳



出典: 宿泊旅行統計調査(観光庁)

現状・課題の整理

1 アジアへの依存度が高い九州観光

アジア : 地理的優位性を活かしながら、中国からの個人旅行を含めて、さらなる伸びを目指す

欧米・大洋州: 現状は、東京・大阪・京都に比して欧米・大洋州からの割合が低く、情報量も少ない (= 今後の伸びしろが大きい)

2 九州観光の情報発信 (いかに九州観光を選んでもらうか)

- 九州の強み(自然、歴史・文化、気候、食)、観光資源、体験等の発信
- 宿泊、飲食、交通等の基本的な旅行関連情報が不足

3 外国人の目線に立った受入環境の充実 (いかに快適に旅行してもらうか)

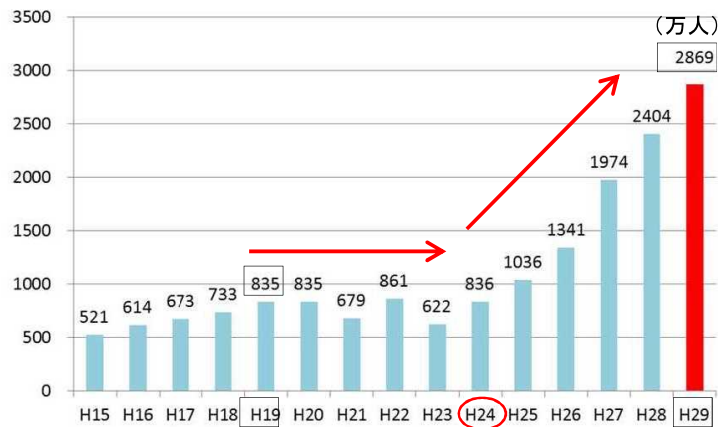
- 多言語対応
- 災害時の対応
- キャッシュレス決済
- 周遊促進
- その他(タトゥー入浴、禁煙・完全分煙、食文化・食習慣)

(現状・課題1-①)

訪日外国人及び国際観光の動向

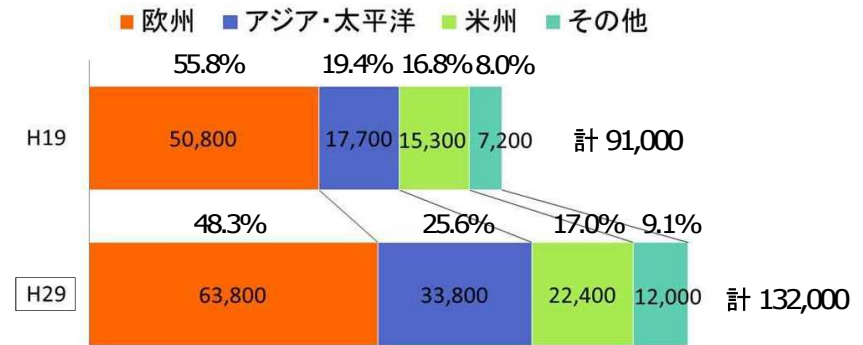
- H29年の訪日外国人旅行者数は2,869万人と、5年連続で過去最高を記録した
- 世界全体の国際観光客数は、H29年に13億2,000万人となり、半世紀以上にわたり成長を続けている
- 出発地域別の内訳では、「欧州」が6億3,800万人(H29)と、約半数を占める

○訪日外国人旅行者数の推移



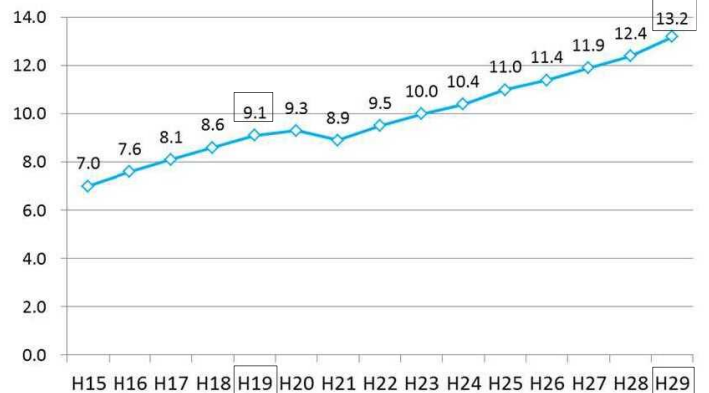
出典：法務省入国管理統計

○出発地域別内訳及び推移(単位:万人)



出典：観光白書を元に事務局で作成

○世界全体の国際観光客数の推移



出典：観光白書より事務局で作成

○世界観光に占める日本へのシェア

【訪日外国人旅行者数/国際観光客数】

H19 835万人 / 91,000万人 = 0.92%

H29 2,869万人 / 132,000万人 = 2.17%

<日本政府によるビザ発給要件の主な緩和例>

H25 タイ、マレーシア、ベトナム 他

H26 ミャンマー、インド、インドネシア 他

H27 中国 他

(※政府目標 2020年:4,000万人 2030年:6,000万人)

○国際観光の主な指標

- ・世界全体のGDP総額の10.4%(出典：世界旅行ツーリズム協議会)

- ・10人に1人を雇用(出典：世界旅行ツーリズム協議会)

- ・2030年の予測 国際観光客数18億人(出典：世界観光機関)

(現状・課題2-①)

訪日外国人に選ばれる九州・山口各県の観光資源の事例

メディアによる独自取材

福岡 河内藤園(北九州市)

- ・CNN「日本の美しい風景31選」に選出(H27)
- ・絶景の藤棚、80m・110mの“藤のトンネル”
- ・来訪目的は“花”、インスタ映え
- 入場者急増、H28から事前チケット購入制



山口 元乃隅稲成神社(長門市)

- ・CNN「日本の美しい風景31選」に選出(H27)
- ・100基を超える“鳥居”の列
- ・青い海、緑の丘陵、朱色の鳥居のコントラスト
- 3万人だった観光客がH29に100万人突破



大分 白杵石仏(白杵市)

- ・旅行ガイド本「ロンリープラネット」に掲載
- ・起源に多くの謎を秘める国宝磨崖仏
- ・“議論好きのフランス人”のロコミ拡大
- フランス人観光客増、仏語パンフレット作成
- 周辺の民泊も増えるなど、効果が波及



イベント開催

大分 世界温泉地サミット(2018.5月)

- ・16か国17地域の温泉地が参加、温泉の活用について議論
- 温泉はキラーコンテンツではなく、“温泉+α”で魅力アップ、情報発信
- 例:ONSEN・ガストロノミー・ツーリズム(温泉×美食)



佐賀 SAGA SANTA SUMMIT 2018

- ・有田焼窯元の煙突を利用した侵入訓練
- ・佐賀の地域資源をサンタクローズが世界にPR



世界遺産

長崎・熊本 世界文化遺産(2018.6月登録)

- 「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」
- ・禁教政策下の密かな信仰、“独特の文化的伝統”
- 7~8月の観光客 前年比1.5倍の16万人



鹿児島 世界自然遺産「屋久島」

- ・樹齢7千年の縄文杉、生命力溢れる“大自然”
- ・海外でも人気の宮崎駿アニメ「もののけ姫」の舞台モデル



その他

熊本 水前寺成趣園(水前寺公園)

- ・300年以上の歴史を誇る日本庭園
- ・着物で庭園散策や茶道体験ができる



山口 岩国美術館

- ・全国有数の古武具美術館(甲冑等6千点)
- ・武具でありながら、芸術品として映る



沖縄 空手発祥の地

- ・第1回沖縄空手国際大会開催(2018.8月)
- 世界の沖縄空手愛好家の交流の場を創出
- 50の国と地域から参加(うち欧米・大洋州から26か国参加)



宮崎 サイクルツーリズム

- ・“日本のひなた 九州 宮崎”
- (快晴日数全国2位、日照時間全国3位)



国が提唱する観光の4大要素(観光ビジョン構想会議:議長は安倍総理)

- ①自然 ②文化 ③気候 ④食

⇒九州の持つ強みや潜在力に、今後も磨きをかける

(現状・課題2-②)

その他の取組

○九州合同プロモーション in France

1 概要

○日仏友好160周年の節目を迎えるフランスをターゲットに官民一体のトッププロモーション(九州地域戦略会議として初)を実施

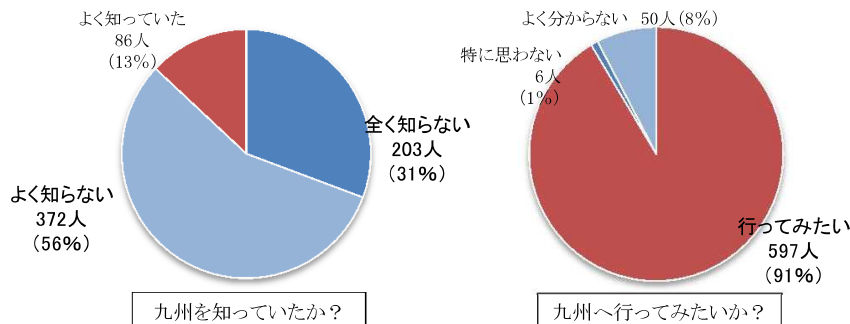
- 期間:平成30年7月1日(日)~5日(木)
 参加:両共同議長をはじめ総勢80名(随行含む)
 主な内容:①九州観光セミナー(パリ日本文化会館)
 ②九州合同レセプション(ルドワイヤン)
 ③Japan Expo 2018 九州ブース出展(ノール・ウィルハント) 等



Japan Expo : 全体来場者24万人超
九州観光セミナー: 旅行会社、メディア 26社参加



《Japan Expo 2018 来場者アンケート結果(661人)》



→約9割のフランス人は「九州を知らない」が「九州に行きたい」

2 各県・経済界による総括

〔ふりかえり〕

- ・フランスのインバウンド需要取込みの今後の可能性を実感
- ・長期滞在型のフランス人観光客に対しては、単県PRよりも九州が一体となった取組が効果的
- ・九州の認知度の低さを痛感したが、各訪問先との関係を構築できたことは大きな収穫

〔提案〕

- ・今回の成果や反省点を踏まえ、「次の活動」につなげるべき
- ・フランスを足掛かりに欧州全体に広げ、米・大洋州も検討すべき
- ・欧州へ進出している九州の企業や県人会等と連携してはどうか
- ・欧州向け九州ブランドの構築、共通のPR素材が必要

〔今後の方向性〕

今回のトップセールスやプロモーションを足掛かりにして、来年度以降も、九州一体となって、欧州での具体的なアプローチを強化する。

○IR導入に向けた動きについて

2018.7月 IR整備法成立→区域認定数の上限が3区域に決定
 2018年度中(見込) 区域認定要件等に係る国の基本方針案が判明
 2019夏頃(想定) 基本方針策定・公表(国)
 2019年度(想定) 実施方針策定・公表、事業者公募・選定(都道府県)
 2020年度(想定) 区域整備計画の認定申請(都道府県・事業者)
 2020年代半ば 開業(目標)

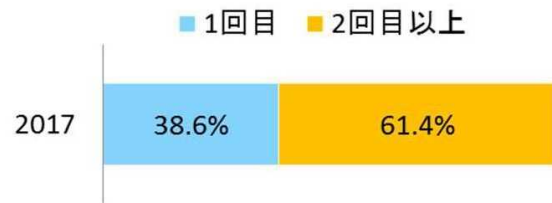
長崎県の動き

2018.4 長崎IR基本構想公表(長崎県・佐世保市IR推進協議会有識者会議)
 →観光の魅力発信施設(九州のショーケース)、送客機能施設(九州のゲートウェイ)機能などにより、九州周遊促進に寄与

(現状・課題2-③) 九州・山口の可能性と旅行情報の発信状況

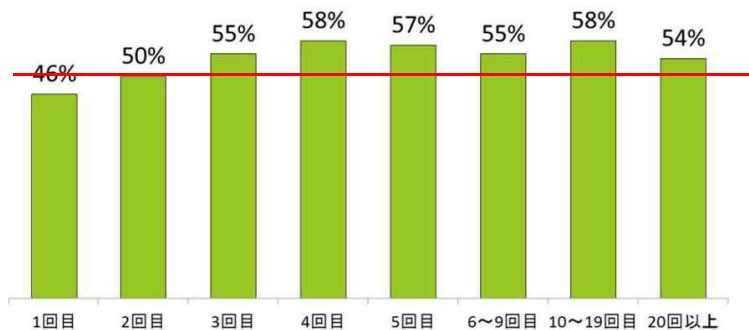
- 訪日外国人旅行者数のうち、6割はリピーター
→2回目の訪問以降はゴールデンルート以外の「地方」訪問率が50%を超える
- 欧米豪からの観光客は、「旅行ガイド本」を利用する割合が高い(欧米豪16~29%、アジア9~16%)が、九州の宿泊や飲食に関する情報量は、東京比で33.9%、関西比で40.1%と、極めて少ない

○訪日外国人リピーター割合



出典: 観光白書を元に事務局作成

○ゴールデンルート(東京・京都・大阪等)以外の地域を旅行する外国人の比率(訪日回数別)



出典: 訪日外国人旅行者の消費動向とニーズについて (日本政府観光局インバウンド戦略部)

○ミシュラン「グリーンガイド」に掲載された宿泊・飲食店数の比較例

(エリア区分の定義はミシュランによるもの)

東京周辺(Tokyo and Surrounding)

東京、東京南部(横浜・鎌倉)、三浦半島、東京北部(日光・草津)	宿泊施設	66	…①
富士山(箱根・湯河原)、伊豆半島の6地域	飲食店	102	
(人口:26,558千人 面積:34,113km ²)	合計	168	

京都及び関西(Kyoto and Kansai)

京都、奈良、高野山、熊野古道、大阪、神戸、姫路城の7地域	宿泊施設	59	…②
	飲食店	83	
(人口:20,631千人 面積:27,351km ²)	合計	142	

九州(kyushu)

(人口:12,917千人 面積:42,231km²)

	福岡	佐賀周辺	長崎	熊本・阿蘇	鹿児島	屋久島	宮崎	大分	合計	…③
宿泊施設	4	2	5	5	4	3	4	4	31	
飲食店	7	3	7	3	3	3	0	0	26	
合計	11	5	12	8	7	6	4	4	57	



	東京周辺比 ③/①	京都関西比 ③/②
宿泊施設	47.0%	52.5%
飲食店	25.5%	31.3%
合計	33.9%	40.1%

出典: ミシュラン「グリーンガイド」より事務局作成

<参考>

九州にアクセスするための主な国際線の就航状況

	福岡空港	チャンギ空港 (シンガポール)	仁川空港 (韓国ソウル)	羽田空港
①乗降客数(2017年)	2,380万人 (うち国際線は 617万人)	6,222万人 (国際線のみ)	6,215万人 (うち国際線 6,152万人)	8,526万人 (うち国際線 1,690万人)
②国際線の就航先	9ヶ国・地域 19都市 370便	約100ヶ国・地域 約400都市	59ヶ国・地域 188都市	19ヶ国・地域 31都市 783.5便
③滑走路	1本(2800m) 2500mの2本目を整備中	2本(各4,000m) 3本目を建設中	3本(3,750m×2、4,000m×1)	4本(3360m、3000m、2500m×2本)
④離着陸	午前7時～午後10時	24時間	24時間	24時間
⑤ターミナルビル	2施設 計18.5万㎡(うち国際線は7.4万㎡)	4施設 計124.3万㎡(国際線のみ)	2施設 88.4万㎡(国際線のみ)	1施設 15.4万㎡(国際線のみ)
⑥運営会社	【民間委託】福岡国際空港株式会社 2018.11～ ターミナルビル運営開始 2019.4～ 滑走路含め一体運営開始	Changi Airport Group	仁川国際空港公社	日本空港ビルディング株式会社
⑦世界で最も素晴らしい空港 ランキング(英格付け会社)	100位	1位	2位	3位

○九州・山口の国際定期便の就航状況 : 2018年3月(事業計画認定時)夏期スケジュール

	国・地域	都市	就航先の都市	便/週
福岡空港	9	19	韓国(ソウル、釜山、テグ)、香港、中国(上海、武漢、北京・大連、青島、マカオ)、台湾(高雄、台北)、フィリピン(マニラ)、シンガポール、アメリカ(グアム、ホノルル)、タイ(バンコク)、ベトナム(ハノイ、ホーチミン)	370
北九州空港	2	3	韓国(ソウル・釜山)、中国(大連)	14
佐賀空港	2	2	韓国(ソウル)、中国(上海)	12
長崎空港	2	2	韓国(ソウル)、中国(上海)	5
熊本空港	3	3	韓国(ソウル)、香港、台湾(高雄)	12
大分空港	1	1	韓国(ソウル)	7
宮崎空港	3	3	韓国(ソウル)、香港、台湾(台北)	11
鹿児島空港	4	4	韓国(ソウル)、香港、中国(上海)、台湾(台北)	25.5
那覇空港	6	15	韓国(ソウル、釜山、テグ)、香港、中国(上海、北京、南京、杭州、天津、西安)、台湾(高雄、台北、台中)、シンガポール、タイ(バンコク)	202
新石垣空港	2	2	香港、台湾(台北)	7.5
山口宇部空港	1	1	韓国(ソウル)	3
九州・山口計	35	55		669

(重複除き) (9) (24)

※福岡空港は、フィンエアーがヘルシンキ便を夏期ダイヤで運航

→九州・山口では、福岡空港のグアム、ホノルル以外は全てアジア便

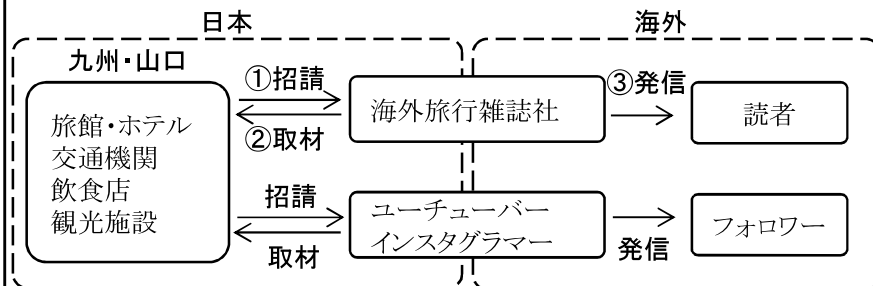
→欧米・大洋州からの観光客は、チャンギ、仁川、羽田空港等を経由して九州へ

(現状・課題2-④)

国内でも実践可能な情報発信の取組例

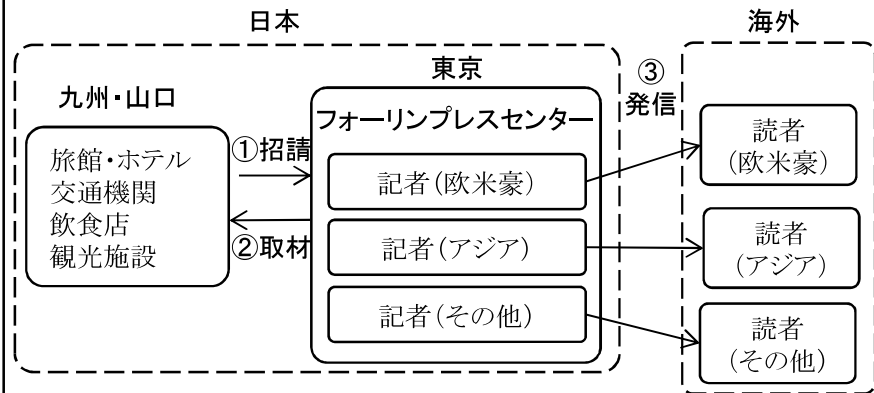
➤ 海外旅行雑誌社やインフルエンサー、在日外国人記者の招請、ランドオペレーターへの情報提供、レップとの委託契約を活用した情報発信

(1) 海外旅行雑誌社、インフルエンサー(ユーチューバー・インスタグラマー)



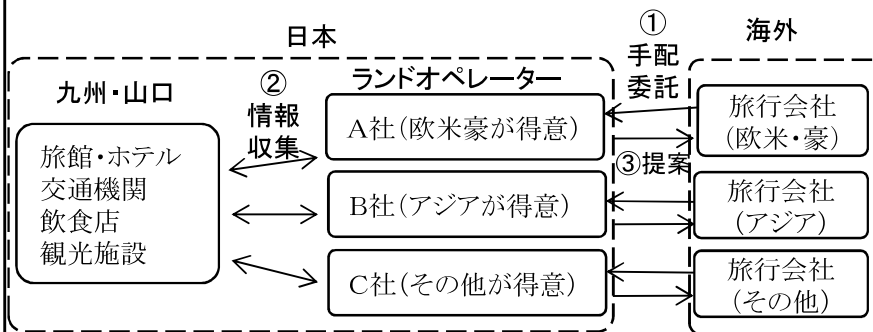
【見込める効果】特定の層に対して強い影響力を發揮

(2) フォーリンプレスセンター



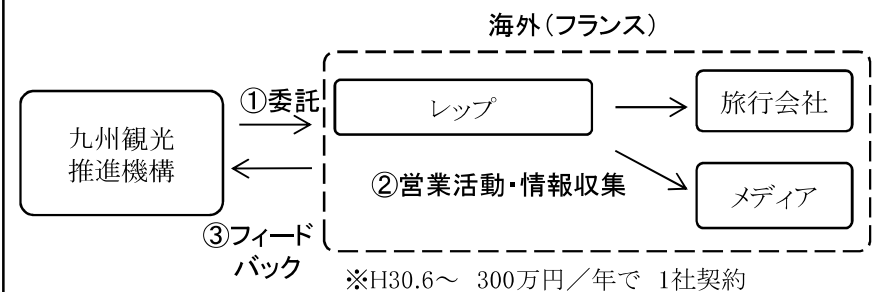
【見込める効果】幅広い読者層に、等しく情報発信

(3) ランドオペレーター



【見込める効果】海外旅行会社のニーズに合わせた情報発信

(4) レップ (Representative: 代理人)



【見込める効果】現地に詳しいレップ(代理人)が自ら売り込み

(現状・課題3-①) 外国人の目線に立った受入環境の充実

1 多言語対応

(1) 表示・案内・解説等の課題

- (日本人を前提とした表示や解説ではなく、) 外国人の目線に立ったわかり易い内容になっているか
- 外国人に誤解や違和感を与えない表現になっているか

(2) 多言語コールセンターの現状

- 利用件数 6,359件 (H30年4~8月の5ヶ月間)

<問い合わせ元>

宿泊・飲食	交通	観光	病院等	その他
71.7%	14.9%	5.8%	3.7%	3.9%

- 今後、外国人個人客からの直接予約増に伴い、突然のキャンセルによるトラブル等の増加も懸念されている

2 災害時の対応 (安心・安全の確保)



<台風21号での大阪府の対応>

- 関西空港や駅等で多くの外国人が「情報難民」に
- 上陸2日後、既存のコールセンターに加え、電話相談窓口を設置
→番号の周知が行き渡らず、利用できた外国人は少数

<北海道胆振東部地震での北海道の対応>

- 停電した新千歳空港内で外国人の主な情報源であるスマホの充電が困難に
- 地震当日、道庁国際課に電話相談窓口を開設

→ 災害時は交通結節点に外国人が集まる傾向

【今後の方向性】

(1) 外国人向けの表示・案内・解説への対応

⇒地元の事情に詳しく、かつ、外国語の語感がわかるネイティブによる表示・案内等の作成

H26.3(国土交通省・観光庁)観光立国に向けた多言語対応の改善・強化のためのガイドライン

例：黒川温泉 Kurokawa Hot Spring → Kurokawa Onsen
宇佐神宮 Usa shrine → Usa-jingu shrine

(2) 多言語コールセンターの更なる活用・周知

- 外国人観光客への「予約確認」にも活用可能
⇒旅館・ホテル等に有益な活用方法として周知

【今後の方向性】

「九州・山口は災害対応がしっかりしている」と安心感を与える体制づくりが必要

- ⇒鉄道、バス、空港等とコールセンターとの日頃からの連携
- ⇒多言語コールセンターやTIC(九州・山口で133ヶ所認定)、各県が災害対策本部に設置する多言語情報センター等の連携
- ⇒運行情報やお知らせ等に関する外国語での情報提供促進

ここで携帯電話の充電ができます。
ここでけいたいでんわのじゅうでんができます。
You can charge your cellular phone here.
可在此做手机充电。
여기서 휴대폰을 충전할 수 있습니다.

手書き看板
紙での貼り出し等

(現状・課題3-②) 外国人の目線に立った受入環境の充実

3 キャッシュレス決済

現状、決済比率は欧米等の40%~50%に対し、日本は20%程度
 (背景:現金への高い信頼、ATMによる現金入手が容易等)

<国の動き>

- H29.6 閣議決定「未来投資戦略2017」
 “今後10年間(2027年6月まで)にキャッシュレス決済比率を倍増させ、4割程度とすることを旨とする”
- H30.4 「キャッシュレス・ビジョン」公表(経済産業省)
 “大阪・関西万博(2025年)に向け、目標を2年前倒し”
 - ①キャッシュレス支払導入に係るボトルネック解消
 - ②消費者に対する利便性向上と試す機会の拡大
 - ③支払サービス事業者のビジネスモデル変革を後押し
 - ④産官学によるキャッシュレス推進の強化
 - ⑤新産業の創造(支払データ等を利活用するビジネス等)

<小規模・中小企業の声>

- どの決済業者がよいか分からない

<イメージ>

会社名	A社	B社	C社
加盟店手数料	4~5%	3~5%	3~5%
端末機器	無償提供	2万円	7~8万円
支払いサイクル	月1回	月2回	応相談

- 手数料や端末機器のコストが高い

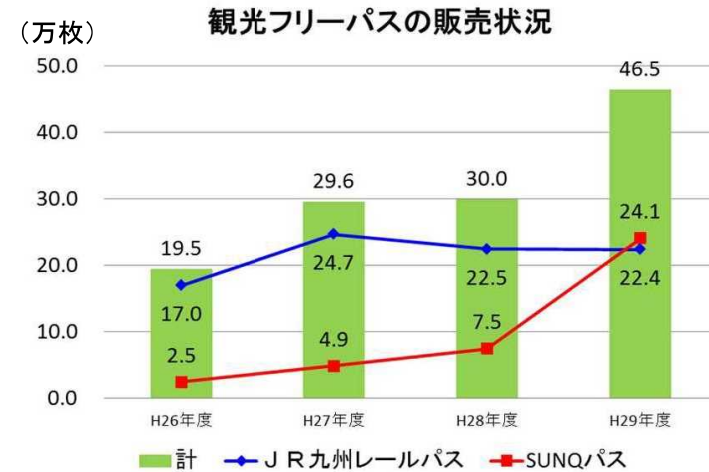
【今後の方向性】

- 導入促進の契機として
 - 外国人旅行者の増(相次ぐ国際スポーツ大会等の開催)
 - 消費増税「軽減税率対応レジ」等との同時導入(H31.10)

⇒キャッシュレス対応で全国をリードする

4 周遊促進

- JR九州レールパス(外国人向けのみ販売)
- SUNQパス(「南部九州パス」をH30.4~販売開始)



※インバウンド増に伴い、周遊パスの利用者数は年々増加

5 その他

- タワーでの温泉入浴
 大分県別府市の取組
 →貸切風呂の有無やタワーがあっても入浴できる市営・民間の16施設を英語で紹介する温泉マップを作成(2017.11月)

- 禁煙・完全分煙
 施設、タクシー、レストランなど

- 食文化・食習慣
 ベジタリアン、ハラール等への対応



論点整理

- 世界全体の国際観光客数が拡大を続ける中、訪日外国人旅行者数も近年急激に増加し、特に九州・山口地域では全国を上回る伸び
- 今後の国際スポーツ大会等の開催を契機として、「観光」と結びつけることで、欧米・大洋州を含めた更なるインバウンド拡大の好機となり得る

→九州・山口地域の強みやポテンシャルに磨きをかけるとともに、外国人の目線に立ってサービスの質を高める必要

→積極的な情報発信や、外国人観光客が快適に旅行できる受入環境の充実に官民一体となって取り組む必要